

円筒巻線に適用する高温超電導並列導体の最適転位 と電流分流に関する研究

福本, 祐介

<https://hdl.handle.net/2324/2236259>

出版情報 : 九州大学, 2018, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

| | | | | |
|--------|------------------------------------|------|----|------|
| 氏名 | 福本 祐介 | | | |
| 論文名 | 円筒巻線に適用する高温超電導並列導体の最適転位と電流分流に関する研究 | | | |
| 論文調査委員 | 主査 | 九州大学 | 教授 | 岩熊成卓 |
| | 副査 | 九州大学 | 教授 | 末廣純也 |
| | 副査 | 九州大学 | 教授 | 木須隆暢 |

論文審査の結果の要旨

本論文は、高温超電導線材の大電流容量化・低交流損失化を目指して、転位並列導体の導入を提唱し、高温超電導テープ線材で構成する転位並列導体の最適転位パターンを理論・実験の両面から明示、検証したものであり、交流損失の増加なしに kA 級の電流容量を持つ超電導導体を実現した点で、電気電子工学上、価値ある業績である。よって、本論文は博士（工学）の学位に値するものと認める。